

こんにちは、炭素市場エクスプレス事務局です。

本メールマガジンは、炭素市場に関する最新の動向や国内外のイベント情報等についての情報を毎月 2 回程度配信しています。下記リンクもあわせてご覧ください。

ホームページ <https://www.carbon-markets.go.jp/>
Facebook <https://www.facebook.com/jcm.oecc/>
二国間クレジット制度(JCM) <https://www.carbon-markets.go.jp/jcm/index.html>

◇トピックス

◆1. 事務局からのお知らせ

[1] 新着コラム！「JCM の基本×インフォグラフィック:現在いくつかの JCM 資金支援事業が実施されているのでしょうか？」

[2] 「REDD/REDD+ページの更新」

[3] 「二国間クレジット制度と持続可能な開発への貢献 活用ガイダンス」(IGES)

◆2. 報道発表

[1] 「アジア開発銀行の二国間クレジット制度日本基金を活用した『マレ広域区廃棄物発電プロジェクト』(モルディブ)の承認について」(環境省)

[2] 「令和 2 年度『二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業』の採択案件の決定について」(環境省)

◆3. 公募情報

[1] 「令和 2 年度コ・イノベーションによる途上国向け低炭素技術創出・普及事業の2次公募について」(環境省)

◆4. イベント・セミナー情報

[1] 「インドネシアにおける二国間クレジット制度(JCM)の実施に関するウェビナー(2020) -コロナ時代における JCM の活用-」(GEC)

◆1. 事務局からのお知らせ

[1] 新着コラム！「JCM の基本×インフォグラフィック:現在いくつかの JCM 資金支援事業が実施されているのでしょうか？」

JCM の基本情報を分かりやすく伝える短編のインフォグラフィック動画シリーズの公開を開始しました。

第一弾のテーマは JCM 資金支援事業の数です。JCM は 2013 年から開始され、現在日本と 17 カ国との間で実施されています。現在いくつかの JCM 資金支援事業が実施されているのでしょうか？また、それら事業の実施により、どれくらいの GHG 削減が見込まれているのでしょうか？

【動画はこちらからご覧いただけます】

⇒ https://youtu.be/Yr_fzDmJDE8

[2] 「REDD/REDD+ページの更新」

炭素市場エクスプレス「市場メカニズム」内、「REDD/REDD+」ページについて、最新情報をもとに更新しました。JCM-REDD+事業などの紹介も追加されています。

【下記よりご確認下さい】

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/mkt-mech/climate/redd.html>

[3] 「二国間クレジット制度と持続可能な開発への貢献 活用ガイダンス」(IGES)

二国間クレジット制度と持続可能な開発への貢献活用ガイダンスは、JCM プロジェクトがどのように SDGs に貢献しているかの特定や分析に活用することができます。プロジェクトを分析することで、企業内における JCM の SDGs への貢献の理解を深め、ビジネス戦略と SDGs の統合に関するコミュニケーションや意思決定を促します。さらに、SDGs を軸とする新たなビジネス戦略構築のための戦略的ツールとして JCM を活用することができます。

【下記よりガイダンス(PDF)をダウンロードできます】

⇒ <https://www.iges.or.jp/jp/pub/jcm-and-sdgs-linkage-guidance/ja>

◆2. 政府機関の発表

[1] 「アジア開発銀行の二国間クレジット制度日本基金を活用した『マレ広域区廃棄物発電プロジェクト』(モルディブ)の承認について」(環境省)

アジア開発銀行(ADB)は令和2年8月12日、二国間クレジット制度(JCM)日本基金を活用した第6号案件として、モルディブのマレ広域区の環境改善及び廃棄物管理のためティラフシ島に廃棄物発電を導入するプロジェクトを承認しました。

環境省は、先進的な脱炭素・低炭素技術のアジア途上国への普及を促すため、平成26年度からADBにJCM日本基金を設置し、JCMプロジェクト形成を進めています。

【環境省による報道発表】

⇒ <https://www.env.go.jp/press/108329.html>

[2] 「令和2年度『二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業』の採択案件の決定について」(環境省)

令和3年8月31日、令和2年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」の採択案件として1件を選定しました。これまでに採択した案件を含めた2030年までの累積温室効果ガス(GHG)削減量は、約1,720万トンを見込んでおります。

【環境省による報道発表】

⇒ <http://www.env.go.jp/press/108365.html>

◆3. 公募情報-----

[1] 「令和2年度コ・イノベーションによる途上国向け低炭素技術創出・普及事業の2次公募について」(環境省)

令和2年度コ・イノベーションによる途上国向け低炭素技術創出・普及事業の執行団体である公益財団法人地球環境センターが当該補助金の2次公募を令和2年9月1日から開始しますので、お知らせします。

【環境省による報道発表】

⇒ <https://www.env.go.jp/press/108382.html>

◆4. イベント・セミナー情報-----

[1] 「インドネシアにおける二国間クレジット制度(JCM)の実施に関するウェビナー(2020) -コロナ時代における JCM の活用-」(GEC)

日本環境省及び公益財団法人地球環境センター(GEC)は、インドネシア経済担当調整大臣府及びインドネシア JCM 事務局と共催で、2020 年 9 月 30 日(水)に「インドネシアにおける二国間クレジット制度(JCM)の実施に関するウェビナー ～コロナ時代における JCM の活用～」を開催します。

また、ウェビナー終了後には、インドネシアにおいて設備補助による低炭素・脱炭素技術導入を検討中の企業と、関連技術を提供できる企業とのビジネスマッチングの個別面談、さらに設備補助事業への個別相談を設定します。

開催日:2020 年 9 月 30 日(水) 午後 3 時 - 午後 5 時半(日本時間)、午後 1 時 - 午後 3 時半(インドネシア西部時間)

会場:WEB 会議システム「Zoom」にてご視聴ください。(事前申込時にご登録いただいたメールアドレス宛にリンクを送付いたします。)

言語:英語(同時通訳)

参加費:無料

詳細は下記のサイトでご確認ください。

⇒ http://gec.jp/jcm/jp/news/jcm2020indonesia_info/

◎●お問い合わせについて

炭素市場エクスプレスでは、二国間クレジット制度(JCM)や国際的な市場メカニズムに関する情報を提供しております。JCM の制度や仕組み、プロジェクトの実施、クレジットの活用及び市場メカニズムの動向等について、下記ページよりメール・電話にてお気軽にご相談ください。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/contact/>

メールマガジン登録内容変更もしくは配信停止ご希望の方は、下記ページより手続きください。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/newsletter/>

メールマガジンのバックナンバー(PDF)は下記サイトで公開しています(最新号を配信後に、前号がアップされます)。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/newsletter/2020/>

◎●発行・編集

炭素市場エクスプレス事務局 / 一般社団法人海外環境協力センター(OECC)

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-25-33 フロンティア御成門 3 階(フロンティア御成門)

※このメールの記載内容の無断転載、無断複製を禁じます。